



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



学校教育目標 ㊦ いさつから輪を広げる子 ㊧ ふうして学び続ける子 ㊨ たしもあなたも命を大切にする子

な・つ・や・す・み・ひ・と・よ・べ

校長 鈴木 正憲

チャレンジフェスタで盛り上がったと思ったら、もうすぐ夏休みです。子どもたちと充実した学校生活を送っていると時の経つのがはやく感じます。この生活が途切れることなく潤いのある夏休みとなるよう、保護者、地域の皆様のご協力をよろしくお願ひします。「夏季あくわルーム」「夏季特別水泳」、PTAとキッズクラブのイベントや「南部まつり」、「納涼祭」などの地域行事にも積極的に参加してもらいたいです。今年の夏休みのメッセージは「なつやすみひとよべ!」(夏休み人呼べ)です。

「な」南部祭りや団地の納涼祭等の地域行事に積極的に参加しよう。(コミュニケーション)

「つ」ついて行かない。知らない人に声をかけられたら、不審な人を見かけたら。⇒110番通報(安全)

「や」野菜を食べよう。規則正しい食生活を心掛け、好き嫌いをしないで何でも食べよう。(食育)

「す」水分や塩分をしっかりと補給して、熱中症を予防しよう。(健康)

「み」水の事故に遭わないように、命を大切にしよう。水泳学習を頑張ろう。(生命尊重)

「ひ」火遊びは絶対しない。あくわっ子は、ライター、マッチにふれない。さわらない。(火災予防)

「と」盗らない。万引きや自転車盗など犯罪行為に巻き込まれないようにしよう。(防犯・非行防止)

「よ」読もう!本を!豊かな心を育てよう!(読書活動の推進)

「べ」勉強をしよう。(学力向上)

6月28日(水)瀬谷公会堂で行われた「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」瀬谷区審査会に、学校を代表して6年生の森 優菜さんが出場しました。ここに紹介させていただきます。

世界の貧困をなくすには

皆さんが考える平和とはどのようなものでしょうか。私が考える平和は、「貧困」がない世界です。なぜなら、貧困による飢餓は劣等感や損失感を覚え、心を貧しくさせ、相手に対し攻撃的になりやすく、争いを起こしやすくなると思えるからです。逆に満足感を得れば幸福感に浸ることができ、心にゆとりをもち、相手に優しく接することができます。もう一つは、教育です。例えば教育を受けることができなければ、子どもたちはどうなるのでしょうか。自分から考えることもなく、周りの言ひなりになり、夢や希望をもつことができず、しかし、世界全体では、7千万人以上の子どもたちが教育を受けることができないという統計もあるのです。教育は、私たち子どもにとってとても大切です。知識だけでなく、自ら考え、行動する力を得て将来自分の進む道を選び、夢や希望をもつこともできます。しかし、現状はどうでしょうか。戦火に巻き込まれ、家や家族を失った子。貧しさゆえに漁へ行き魚を捕ったり、畑を耕したり、ゴミ拾いなどの仕事をしながら家計を支え、日々を過ごしている子どもが大勢います。このような現実を解決するためにSDGs(持続可能な開発目標)の活動があります。これは国連に加盟している193の国々が、地球環境や貧困、飢餓の撲滅、教育問題など17の目標を掲げ、一人ひとりの人権を守り、幸せを願ひ日々活動を行っています。そして日本では、貧困の現状を「見える化」する活動を行っています。「見える化」とは、貧困の現状を数値化し、貧困に気付かせてくれます。さらに、見て終わるだけでなく、原因を探し解決につなげていくのです。このような活動が世界全体で進められている中、私たちにできることはどのようなことでしょうか。私は、世界全体の現状や問題点を知ることが大切だと思います。それは、世界や自国のことを意識し、考えるきっかけになるからです。他にも共同募金やテレビ、コンビニでの募金、ベルマークの活動や使わなくなったランドセルや着なくなった洋服の寄付など身の周りには一緒に参加できる活動がたくさんあります。

一人で貧困におかされている人全てを救うことはできません。しかし、たくさん人が少しでも平和になるために協力し、助け合うことが平和になるためのカギになると思います。そして、この国際平和スピーチコンテストも私たちができる平和に向けた活動ではないでしょうか。